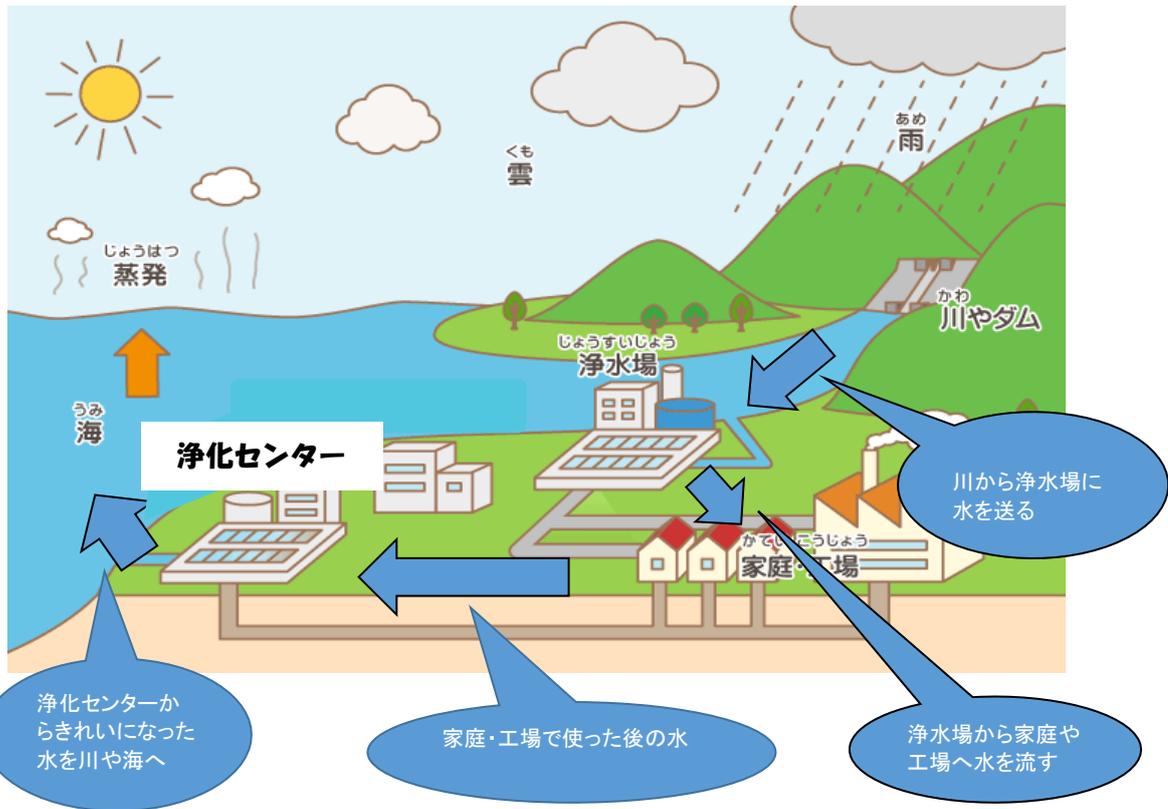


# ○飲み水はどこからきて、使った後の水はどうなっているのかな？



川や湖の水は、太陽の熱で温められると水蒸気になり、雲になります。その後、水分を含んだ雲が風に運ばれながら大きくなり山や町の上で、雨や雪を降らせませす。降ってきた雨や雪は川に流れたり、地面にしみこんで地下水となったりしますが、最後は海に流れていきます。海は水の行きつく場所なんですね。こうやって水は循環しています。

川の水や地下水は浄水場(南富良野町には、北落合浄水場、落合浄水場、幾寅浄水場、東鹿越浄水場、森林公園浄水場、金山下金山統合浄水場があります)できれいな水にしてから水道管を通してみんなの家庭に運ばれます。

家庭で使って汚れた水は、下水道管を通して浄化センターに集められ、不純物を取り除き、特別な薬品と微生物の力を利用してきれいにした後に、川や海(南富良野町は松井川)に流しています。

浄水場は、川や地下から取水した水をきれいにして、家庭で飲める水にするところです。もし、浄水場がなかったら家庭での飲み水にはい菌が入っていてみんながおなかを壊す原因になるかもしれません。

浄化センターは、家庭で使い終わった水を特別な薬品と微生物の力を利用してきれいにし、川や海に流しています。

もし、浄化センターがなければ、川や海に流す水が汚い水になってしまうので、川にいる魚が生きられなくなったり、偏った生物が大量発生する等の自然環境、生活環境に大きな影響が出てしまい、病気等が蔓延してしまうかもしれません。

普段、あまり気にしないで水を使っている人がほとんどですが、浄水場や浄化センターは町の人たちの生活にとっても深くかかわっているんですよ。

水はとっても大切な資源だよ！

